

公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 部分公開 ☐ 非公開
----------	--

※「5 審査（議題、内容及び結果）」における記号の説明
「○」…委員の発言
「●」…委員の質問に対する事業者の回答

第9回「西部清掃工場更新」における

浜松市 PFI 等審査委員会会議録

- 1 開催日時 令和6年12月13日 13時00分から17時30分
- 2 開催場所 浜松市役所本館8階 第3委員会室
- 3 出席状況 出席委員 山口 直也 教授（青山学院大学大学院）
荒井 喜久雄 （前）技術指導部長
（（社）全国都市清掃会議）
佐古 猛 特任教授（静岡大学創造科学技術大学院）
高平 めぐみ 弁護士（静岡県弁護士会）
花嶋 温子 准教授（大阪産業大学）
鈴木 秀司 部長（財務部）
袴田 智久 本部長（カーボンニュートラル推進本部）
山田 英二 部長（環境部）
事務局 （環境部廃棄物処理課）
平口課長、平田専門監（課長補佐）、徳田主幹
松下副技監、長岡主任、横井、岡田
アドバイザー （パシフィックコンサルタンツ株式会社）
長谷川、篠木、中山、田中

- 4 傍聴者 非公開の為、0人

5 審査（内容及び結果）

（1）ヒアリング【梅グループ】（質疑応答）

○エンジニアリングマネージャーの役割及び権限を教えて欲しい。

●設計総括である、全体統括はプロジェクトマネージャーが実施する。

○環境学習の設備について、焼却後に発生する排ガスの処理や灰の発生・資源化等についても説明はされるのか。

●処理の基本的な部分は全て網羅する考えであり、詳細は市と協議としたい。

○ステップデッキや屋外展望デッキについて、施設見学以外の来場者が立ち寄り利用することは可能か。

●具体的な自由見学の方法は市と協議としたいが、多くの方が見学可能な施設としたい。

○事業期間終了後に事業者が変わる時において、引継が困難となるものを説明してほしい。

●次期事業者が運転できない状態での引継ぎとはしないものの、当グループのノウハウの観点から、そのままの引継ぎできないものもあるため、運営期間の中で市との協議により決定したい。

○見学者に対するユニバーサルデザインに配慮した部分があれば教えて欲しい。

●市のバリアフリー条例に基づく設計としている。

○高温高压ボイラへの高温腐食対策方法を教えて欲しい。

●実際の運転を模擬した環境試験の結果に基づき、材質や厚みの選定を行う。

○将来、CO₂を回収して農業に利用することは可能か。

●回収装置を設置し、農業と組み合わせる等の改造への提案は可能である。

○第三者の視点を加えた多面的なモニタリングについて、リスク管理の観点から考え方を教えて欲しい。

●毎年度の業務実施計画書の提出をもってリスク管理を担保することとしたい。モニタリングにあたってはチェックリストを使用し、市に提示する。

○外部監査法人、S P Cの内部統制について教えて欲しい。

●S P Cの会計状況も代表企業が積極的にモニタリングを行う。なお、S P Cの会計は、代表企業が会計監査する位置づけである。

○排ガス濃度について、20 分平均値や 1 時間平均値を超えた事例はあるか、またその原因は何か。なお、それが頻発するのであればリスク管理が必要でないか。

●事例はあり、主な原因はごみ質であると考えている。頻発する場合は、運転管理における PDCA サイクルの中で技術的な対策を講じ、市にも報告する。

○30 年間の維持管理費を従来ストーカ炉より 8%低減とあるが、具体の費用は提示できるか。また、リフレッシュ更新は性能の低減が確認された時期に実施の予

定か。

- 具体的な削減費用は実施の際に説明する。更新時期が決まっているものと、性能の状況をみて実施時期を定めるものの両方がある。

○常時監視の実施項目は何を計画しているか。また、ジルコニアによって計測する場合、未燃分があると実際の値と乖離が発生する可能性があるが、対策はあるか。

- ばいじん、HCl、NO_x、SO_x、水銀、CO、O₂は常時監視予定である。詳細は説明できないが、最新技術を使って対策する。

(2) ヒアリング【桐グループ】（質疑応答）

○設計建設においてプロジェクトマネージャーを配置するのか。管理運営においては、所長を配置するとのことだが、SPC 及び資格者との関係性を教えて欲しい。

- プロジェクトマネージャーを配置して指示命令系統を一本化する。運営においては、SPC の工場長と B 社の責任者を兼務とする。資格者は事業所の配置者が担う計画であるが、詳細は実施が決まってから決定する。

○性能曲線について、製品プラ分別後の意味するところを教えて欲しい。

- 製品プラスチックを分別した場合に想定されるごみ質を示している。

○管理棟における地震対策や強風対策はどのように考えているのか。

- 工場棟と管理棟は合棟のため、工場棟と同じ考え方である。

○Think Platform を次期事業者が使用する場合、別途費用が必要となるのか。

- システムの使用には業務の委託が必要となる。

○ZEB Ready（管理エリア）の対象箇所を教えて欲しい。

- 管理棟及び見学者通路部分を対象としている。

○要求水準のごみ質の範囲内であっても、費用精算の協議が必要と回答されているが、要求水準を達成するための費用は、運営費には見込まれていないのか。

- 日常的な変動に対する精算ではなく、将来のごみ質が変わることがあった際に、当初のごみ質からの変化を協議いただきたいとの主旨である。

○天竜清掃工場で更新工場の焼却灰を処理する場合には、天竜清掃工場側での設備・運営での対応が必要と考えるが、その費用は本事業に含まれているのか。

- ご理解のとおりである。

○運営期間終了後の補修・更新費の最小化とあるが、具体的な削減割合や費用を教えてください。

●具体的な数値の回答は困難である。

○天竜清掃工場のスラグについて、農作物の肥料への活用は開始されているのか。

●まだ、肥料未登録のため開始できていないが、県内での使用事例はある。

○焼却灰の全量を天竜清掃工場を受入れることは可能なのか。

●バックアップとして機能及び、天竜清掃工場の受入の限界も加味して、外部委託4社に少量ずつ入れる計画としている。

○動線上で1か所に交差が生じているように見えるが安全なのか。

●一時停止マーク等での対応を考えている。

○タスクフォースと外部専門家の役割と使い分け、また公認会計士の役割を確認したい。

●外部専門家の専門性に応じて使い分け、その結果をタスクフォースで検討する。

(2) 事業提案の得点の決定

委員の個人評価の結果を踏まえ、合議により、加点審査(提案内容)結果を確定した。

(3) 開札及び入札価格点の決定

別室にて入札書の開札を実施し、加点審査(入札価格)結果を確定した。

(4) 総合評価

梅グループ：提案内容点 43.500 点。入札価格点 21.074 点。合計 64.547 点。

桐グループ：提案内容点 29.875 点。入札価格点 17.982 点。合計 47.857 点

以上より、梅グループを最優秀提案として選定した。

なお、本審査に参加した梅グループの正式グループ名は J F E エンジニアリンググループであり、桐グループの正式グループ名は日鉄エンジニアリンググループである。

また、最優秀提案者への要望として、以下の意見が挙げられた。

○リスク管理について、事業期間全体を通じて万全のリスク管理体制を講じるとともに安定した運転管理の実行がなされるよう体制を構築すること。

- 水泳場を含めた他施設へのエネルギー供給等について、市の方針等を踏まえ、事業者として可能な限り要望に応じるなど、協力を図ること。
- 二重らせん式ランプウェイ構造について、実績の少ない構造となると想定されるので、施工には十分留意すること。また、開放的な有孔鋼板と収集車の見えにくい構造は、相反する内容となるので方針を定め、市と協議すること。
- ステップデッキや展望デッキ等を含む、自由見学の実施方法について、見学者の拡大とセキュリティのバランスを考慮した運営とすること。
- AI の活用について、最新の成果が発揮できる設備を採用すること。
- 地域貢献やイベントの実施を含む提案内容全体について、真摯に遵守すること。

6 会議資料の名称 審査委員名簿

第9回委員会の進め方

参考資料（提案内容調書、提案審査に関する質問回答）

7 発言内容記録方法 文字 / 録画 / 録音

8 会議録署名人 山口 直也
佐古 猛